

# 平成29年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立岡崎小学校
作成日	平成30年(2018年) 3月 5日

## 1 教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	学校が取り組んでいる内容を更にわかりやすく地域や保護者に発信し、特色ある学校を作るため、更に協力体制をつくってほしい。	子供の健全な心身を育てるために、全教職員が一丸となり、道徳の研究を中心に努力を重ねている結果、道徳的価値についての理解ができてきている。しかし、それを実際の生活の中に生かしていくことが必要である。	授業に向かう姿勢を身につけさせるとともに、鉛筆の持ち方、人の話を聞く姿勢など、家庭と連携しながらしっかりと取り組んでいく必要がある。

取組の状況に対する意見	授業参観や学校行事等で、保護者や地域の各団体などと協力しながら、学校教育が進められていると感じている。運動会等の学校行事では、積極的に全教職員が取り組み、まとまりのある姿がみられた。	全体的に、礼儀正しく思いやりのある子が多く育っているように思う。縦割り活動をさらに充実させ、お互いを認め合い、高め合える集団を育ててほしい。	学習タイムにきちんと取り組むことで、学力が向上してきているように思う。また、放課後フォローアップの時間も、学習の理解が大変な子供にとって、基礎的な力をつける点で有意義であった。
-------------	---	--	--

検証結果に対する意見	学校の思いや主張を地域にもっと知らせるため、学校だよりをより活用していったらどうか。開かれた学校づくりを進めていることで、学校への信頼感が高まってきている。	縦割り活動などの取り組みにより、上級生が下級生の面倒をよくみている。また思いやりのある子が多いように思う。今後も引き続き取り組んでもらいたい。	県の学習到達度調査の結果から、話す、書く力をより一層つけていく取り組みが必要であると感じた。教師の指導力や子供の学習態度、意欲、理解度を一層向上させてもらいたい。
------------	--	---	---

改善方法に向けての意見	地域・保護者の学校に対する期待度は絶大であり、そのための協力体制もしっかりできていると思う。今後この体制を生かし、学校の課題に対する新しい活動にどのようにつなげていくかを考える必要がある。	不登校、不登校気味、保健室登校など、教室に入れない、授業を受けられない子供に対して、地域や外部機関と連携しながら、少しでも改善できるようにしていかなければならない。	平成30年度から実施される特別の教科道徳、5、6年生の外国語、3、4年生の外国語活動に向けて、計画を立てて取り組んでいく必要がある。
-------------	--	--	--

## 3 その他のご意見

- ・教職員が課外活動の指導(バスケットボール等)を行い、高学年の子供が練習に積極的に興味を持って取り組んでいる。練習の成果が結果にも表れ、子供の自信になったと思う。
- ・登下校時の交通指導は、地域の「岡崎地区子どもを守る会」の協力もあり、マナーが良くなってきていると思う。
- ・教職員の来客者に対する接し方がよく、学校全体の雰囲気はよくなったように感じる。